

# 資料館だより

## CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告／資料貸出
- 3… 展示活動報告2／ワークショップ
- 4… 開催案内／土・日曜日開館

古典的実験機器  
「視野計」  
(1964〔昭和39〕年)

## TOPICS

### 資料館展示室への入館者数累計10万人を達成！

資料館は、8月8日(木)に、展示室入館者数の累計が10万人に達しました。平成元年4月1日に開設以来、実に30年を経て達成した記録です。開館当初は、常時開館しておらず、短期間の展覧会開催時と希望があったときに開館していたため、入館者数は非常に少ない状況が続きましたが、現在では、年々入館者が増え、記録達成が待たれていました。当日は、ちょうど全学的な事業として「キャンパスビジット」が開催され、記録達成が期待されていたので、朝から奥野館長をはじめスタッフがその瞬間を心待ちにしておりました。

この記念すべき10万人目に来館されたのは、山形市在住の

青野樹里さん(中学1年生)です。この日は、お兄さんがキャンパスビジットに参加し、その間にお父様と一緒に資料館の見学に来たとのことでした。

奥野館長から10万人目の記念品の目録を贈呈し、記念撮影の後、学芸員から展示内容について説明を受け、熱心に聴いていただきました。



## 展示活動報告

連 携  
企 画 展

### 「アートか、サイエンスか—知られざる四高遺産から」開催

会期 平成31年2月16日～令和元年5月12日

会場 JPタワー学術文化総合ミュージアム インターメディアテク



近年、資料館では学外の関連施設との連携を模索し様々な団体との連携による企画展示の実現を図っていますが、今回は、会場を東京駅丸の内南口前にあるJPタワー学術文化総合ミュージアム インターメディアテクを会場に、四高時代の科学実験機器を展示し機器の必然性から生まれた造形美に光を当てた展覧会を開催しました。

これは、インターメディアテクを運営する東京大学総合研究博物館と明治時代からの四高の科学実験機器を非常に多く保存している当館と石川県立自然史資料館の3館が連携し展覧会の開催が実現したものです。

展覧会開催期間中には、東京の北の都会(四高及び金沢大学卒業生の同窓会組織)会員らが団体鑑賞を行うなど、東京周辺の同窓生の方々の関心を集め非常に大きな盛り上がりを見せました。

春 季  
企 画 展

### 「金大資料館コレクション展2019：保存と修復第2章」開催

会期 平成31年3月28日～令和元年6月28日

会場 資料館展示室

恒例となった春のコレクション展ですが、今年は、昨年度の「保存と修復」の「第2章」として、開催しました。

昨年度は、博物資料の保存方法の種類の紹介と紙資料の修復に用いられる多様な刷毛などの修復道具を展示し、博物館(資料館も「博物館」です。)のバックヤードでの仕事の紹介を兼ねて最近修復した資料を展示しましたが、今回は、その第2弾として、修復に用いられる「紙」を主なテーマに、修復箇所に応じた様々な和紙の種類を紹介し、和紙の製造工程と和紙を用いた修復の過程と修復資料を展示しました。

そのほか、修復・復元した考古資料の展示と修復に用いる道具についても展示したほか、日本では見る機会が少ないパピルス修復についても展示し、一部はハンズオン展示により手触りを感じてもらえるようにしました。



## 資料貸出

### 橋梁模型を東京都に貸し出し、新宿駅西口で展示

資料館所蔵の橋梁模型のうち、東京都の隅田川に架かる清洲橋の模型とされる「下路吊り橋」を東京都建設局が主催する「東京 橋と土木展」(期間：令和元年8月28日(水)～8月31日(土))に貸し出しました。このイベントは、毎年東京の新宿駅西口の地下広場のイベントコーナーで開催されているもので、今回の出展は、平成29年度に続き2回目となるものです。

## 展示活動報告2

夏季  
企画展

### 「塩野直道と『緑表紙』：金沢高師第2代校長と伝説の教科書」開催

会期 令和元年7月5日～令和元年8月23日 会場 資料館展示室

金沢大学の前身校の一つに、「金沢高等師範学校」があるのを皆さんご存知でしょうか。戦前に全国に4校しか設置されなかった「高等師範学校」の一つであり、昭和19年に3番目の学校として設置(他は、東京→東京教育大→筑波大、広島→広島大、岡崎→名古屋大)されました。その第2代校長となった塩野直道先生は、戦前戦後を通して算数の教科書作りに貢献されたことで有名な方です。

特に、戦前に塩野先生らによって作られた国定教科書は、「緑表紙」と呼ばれ、オスロ(ノルウェー)で開催された国際数学会議でも高い評価を得ました。

この塩野先生と教科書を紹介する展覧会を、塩野先生を記念して毎年行われている「算数・数学の自由研究」作品コンクールの主催団体である一般財団法人 理数教育研究所(Rimse)との連携企画展として開催しました。



## ワークショップ

### 小中学生を主な対象とした考古学ワークショップを開催



昨年度に夏休み企画として開催し好評を博した小中学生を主な対象とする考古学ワークショップ「縄文時代のあみもの体験」を、8月7日(水)に資料館展示室及び中央図書館オープンスタジオを会場に開催しました。当初は、午前、午後の2回の開催で、各10組、計20組を募集しましたが、すぐに定員に達したため、各15組、計30組に募集枠を拡大して実施しました。

当日は、展示室にある昭和期の資料から時代をさかのぼって平安時代までの資料を解説し、更に遡って縄文時代の土器に残された編物跡を解説しました。その後、会場を中央図書館オープンスタジオに移し、当時の代表的な編み方のあじろ編みで、クラフトテープによるコースターを作成しました。親子で参加された方も多く、資料館で用意した様々な色のテープの中からそれぞれが好みの色のテープを組み合わせるコースターの作成に取り組み、楽しい時間を過ごすことができました。

### 令和元年5月～8月 移管・寄贈資料

今期も貴重な資料を寄贈していただきました。当館にて大切に保管し、活用させていただきます。改めて感謝申し上げます。

#### 寄贈

- |                  |            |
|------------------|------------|
| ・ 金沢高工QRAカード     | 井上 彰英氏     |
| ・ 金沢大学第四高等学校卒業証書 | 外1点 久保 真季氏 |





## 開催案内

### 特別展

## 「金沢大学資料館30年の歩み“1989-2019”」

会期 令和元年9月4日～10月28日 会場 資料館展示室

本年度は、資料館の設置から30周年に当たります。これを記念して資料館では、設置の経緯と設置後の資料館の歴史をたどる展覧会を開催しています。

この30年間に集められた資料の紹介のほか、どのような展覧会を実施し、どのようなものを展示してきたかを紹介する内容となっています。

資料館では、平成28年度に「博物館相当施設」の指定を受けたほか、平成29年度には所蔵資料のうち、加賀藩校扁額2面が、金沢市の有形文化財に指定され、1ページ目の記事のとおり今年度には累計入館者数が10万人に達するなど、着々と博物館施設としての機能と実績を積み重ねてきました。本特別展は、これらを一堂に紹介する展覧会です。

8月に東京都に貸し出した「清洲橋」の模型も新宿駅での展示(2ページの記事参照)を終って無事帰還し、凱旋展示しています。

多くの方のご来場をお待ちしています。



### 特別講演会

## 「金沢大学資料館30周年記念特別講演会」

三重県総合博物館 館長 大野 照文  
名古屋大学大学文書資料室 特任助教 堀田 慎一郎

会期 令和元年10月9日(水) 14:45～16:50 会場 中央図書館AV室

特別展と連動して、現在の資料館が果たすべき役割と思われる「博物館機能」と「文書館機能」について、それぞれの御専門の立場から、博物館又は文書館が果たしてきた役割と今後に求められる機能等についてお話しいただきます。資料館にとっては、今後の進むべき道を示すマイルストーンとなる講演会です。

なお、当日は、先着50名様に資料館開館30周年記念トートバッグの提供を予定しています。大勢の皆様の御来場をお待ちしています。

## 土曜日・日曜日に臨時開館を実施

資料館では、中央図書館の協力を得て、特別展の開催期間(9月4日～10月28日)のうち、夏休み明けの土曜日及び日曜日の臨時開館を次のとおり実施します。

多くの皆様のご来館をお待ちしています。

### 特別展開催期間中の 開館日・開館時間

平日 10:00～16:30  
土・日 9:30～16:00(開館日:10/5, 10/6, 10/12, 10/19, 10/20, 10/26, 10/27)  
休館日 9月の土曜日、日曜日及び祝日、10/13, 10/14, 10/22

### 編集後記

8月の資料館は、カレンダーの関係で例年に比べて極端に少ない12日間しか開館していませんでしたが、入館者は昨年8月より多い850人を超えました。

これは、夏季企画展として行った金沢高等師範学校第2代校長の塩野先生関連の展覧会が、非常に好評だった証ではないかと考えているところです。

(土田 浩)

## 金沢大学資料館だより

第60号 令和元年9月発行



発行/編集 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町  
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050  
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<https://museum.kanazawa-u.ac.jp>